

今回は、種子系カンナだからこそ可能な、水栽培の栽培方法を紹介します。カンナ栽培の経験がある方は、今までと違った楽しみ方を、まだ育てたことがない方は、この機会にぜひ挑戦してみてください。水栽培で暑い夏でも涼やかに、鮮やかな花を咲かせましょう。

タキイのハイテク技術

タキイのカンナのタネは、レーザー照射技術で小さな穴をあけ、発芽率が大幅にアップ!!



今回のフクロウ先生

タキイ研究農場
ふるいち ひろゆき
古市 浩之



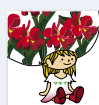
お花が大好きな
女の子

ターキーナちゃん



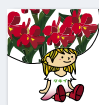
球根カンナでは腐ってしまう水栽培が、種子系カンナだと栽培できるんだって! どうやって育てればいいですか?

スイレン鉢のような底に穴のあいていない鉢か、底穴を塞いで水が漏れないプランターやコンテナに「タキイ育苗培土」のような土を敷き、9～10.5cmポットで育てた苗を定植(写真1)。カンナは吸肥力が高い植物だから、元肥として緩効性肥料を適量施与するんだ。写真2のような大型の鉢だと3株植え、直径20cmほどの鉢だと1株植えにしよう。



水栽培の注意点は?

培養土だけだと、土が水に浮いてしまうことがあるから、土おさえや化粧砂として川砂を表面に薄く敷くといいよ。川砂を敷くことで水を腐りにくくする効果もあるんだ。株元は露出してぐらつかないように、やや深めに定植しよう。水温が低いと株の生育が悪くなるから、気温がしっかりと上がり、温かい水温を確保できる6月ごろに植え替えるといいね。



水やりのタイミングが難しそうですが…?

難しく考えなくても大丈夫! 水が少なくなってきたら足してあげればいいだけだ。ただし、葉が大きく蒸散が盛んなカンナにとって水切れは禁物だよ。定植直後は葉が水に浸かりすぎないように浅く(約1cm)水を入れ(写真3)、その後は生育にともなって水量を増やし、最終的に土の表面から4～5cm程度の深さまで水をためるんだ(写真4)。



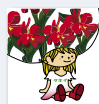
水を張ったままだとボウフラが発生しないか心配です。

ボウフラ予防として殺虫効果のある粒剤をひとつまみ施用しよう。



追肥の与え方は?

生育を見ながら、葉色が薄くなってきたら液肥などで追肥する。あまり肥料分が濃いと藻が発生しやすくなるので注意しようね。藻が発生したら、水をあふれさせ流してしまえばきれいになるよ。



開花までどのくらいかかりますか?

播種後、最短75日程度で開花するよ(写真5)。水さえ切らさなければほとんど手間を掛けずに開花させることができるからね。



きれいに咲いた花を長く保つには?

こまめに花がらを摘むことが大事だよ。咲き終わった花がらを摘まないと、新しい花や葉を腐らせる原因になるんだ。写真6のように咲き終わった枝を根元から切ってしまうと古い枝に養分が行かず、新しい枝が元気に育つんだよ(写真7)。

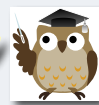


写真1



↑種子から育てたカンナ「F₁サウスパシフィックスカーレット」の苗。

写真2



↑苗の浅植えは避け、やや深めに植え付ける。

写真3



↑植え付けてすぐは土表面から1cm程度に水をやる。

写真4



↑最終的に土表面から4～5cmに水をためる。肥料の与えすぎは藻を発生させるため注意。

写真5



↑最短75日ほどで開花。

写真6



↑写真左の青い円の中、咲き終わった枝をカットしたのが写真右。

写真7



↑花がら摘みをこまめにすると、花が咲いた状態で長く楽しめる。